

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2000-194559 (P2000-194559A)

【公開日】平成 12 年 7 月 14 日 (2000.7.14)

【出願番号】特願 平 10-366928

【国際特許分類】

G 0 6 N 5/04 (2006.01)

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

G 0 6 F 17/27 (2006.01)

【F I】

G 0 6 N 5/04 5 5 0 R

G 0 6 F 3/16 3 2 0 A

G 0 6 F 17/27 M

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 16 日 (2007.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】それぞれ異なる種類の情報を入力する複数の入力手段と、
 前記複数の入力手段より入力されたそれぞれ異なる種類の入力情報を入力順に組み合わせて解析する入力解析手段とを具えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】前記入力解析手段が、
 前記入力情報のそれぞれから概念インスタンスを作成する入力情報概念インスタンス作成手段と、

作成された複数の前記概念インスタンスを統合する概念インスタンス統合手段とを具えたことを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】入力情報と該情報に対応する概念インスタンスの作成に必要な情報とを対応づけて記憶するデータベースと、

前記データベースを参照して、入力情報に対応する概念インスタンスの作成に必要な情報を検索する検索手段とを具え、

該検索手段により検索された情報に基づいて、前記入力情報概念インスタンス作成手段が概念インスタンスを作成することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の情報処理装置。

【請求項 4】前記複数の入力手段が手書き情報を入力する手書き入力手段を含むことを特徴とする請求項 1 ないし 3 記載の情報処理装置。

【請求項 5】前記複数の入力手段がキー情報を入力するキー入力手段を含むことを特徴とする請求項 1 ないし 3 記載の情報処理装置。

【請求項 6】前記複数の入力手段が音声情報を入力する音声入力手段を含むことを特徴とする請求項 1 ないし 3 記載の情報処理装置。

【請求項 7】前記複数の入力手段が画像情報を入力する画像入力手段を含むことを特徴とする請求項 1 ないし 3 記載の情報処理装置。

【請求項 8】前記画像入力手段が画像情報を光学的に入力することを特徴とする請求項 7 記載の情報処理装置。

【請求項 9】前記入力手段が自然言語情報を入力する自然言語入力手段を含むことを特徴とする請求項 1 ないし 3 記載の情報処理装置。

【請求項 10】 前記入力手段が文字情報を入力する文字入力手段を含むことを特徴とする請求項 1 ないし 3 記載の情報処理装置。

【請求項 11】 前記文字入力手段が手書き文字情報を手書き文字認識して入力することを特徴とする請求項 10 記載の情報処理装置。

【請求項 12】 前記文字入力手段が画像情報中の文字情報を光学的に認識して入力することを特徴とする請求項 10 記載の情報処理装置。

【請求項 13】 前記文字入力手段がキー入力情報を文字情報に変換して入力することを特徴とする請求項 10 記載の情報処理装置。

【請求項 14】 前記文字入力手段が、キー入力情報を仮名文字情報に変換し、該仮名文字情報を更に漢字仮名混じり文字情報に変換して入力することを特徴とする請求項 13 記載の情報処理装置。

【請求項 15】 前記文字入力手段が音声情報を認識して文字情報に変換して入力することを特徴とする請求項 10 記載の情報処理装置。

【請求項 16】 前記入力手段より入力される情報の入力順序を記憶する入力順序記憶手段を更に具え、

前記入力解析手段が、前記入力されたそれぞれ異なる種類の入力情報を、前記入力順序記憶手段に記憶された入力順序で組み合わせて解析することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 17】 前記入力手段より入力される情報の入力時刻を記憶する入力時刻記憶手段を更に具え、

前記入力解析手段が、前記入力されたそれぞれ異なる種類の入力情報を、前記入力時刻記憶手段に記憶された入力時刻に基づいて入力順に組み合わせて解析することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 18】 それぞれ異なる種類の情報を入力する複数の入力部から情報を入力する入力工程と、

前記入力工程で入力されたそれぞれ異なる種類の入力情報を入力順に組み合わせて解析する入力解析工程とを具えたことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 19】 それぞれ異なる種類の情報を入力する複数の入力部から情報を入力する入力工程と、

前記入力工程で入力されたそれぞれ異なる種類の入力情報を入力順に組み合わせて解析する入力解析工程とを具えたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報処理プログラムを格納した記憶媒体。